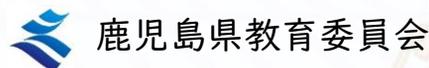


家庭学習は『マイゴールチャレンジ』!

「学習者主体の授業」とつながる家庭学習

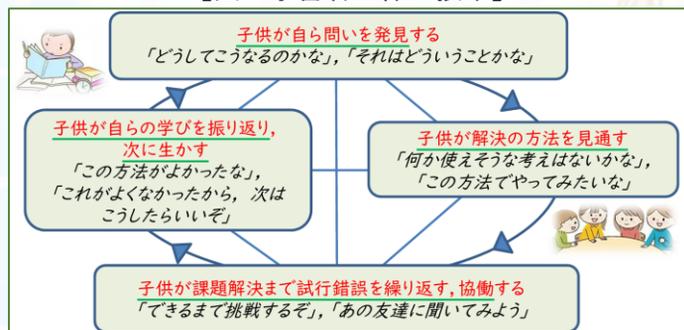


県教育委員会では、児童生徒が求められる資質・能力を身に付けていくために、「学習者主体の授業」(右図参照)を提案しています。各学校において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、児童生徒が自分の学びを振り返ったことを基に自己調整しながら、単元や本時の目標の達成をめざす授業改善の取組を進めていただいているところです。

この「学習者主体の授業」を実現し、児童生徒がより効果的に資質・能力を身に付けていくためには、学校と家庭の連続性(一貫性)が大事であり、家庭学習*においても児童生徒の主体的な取組が求められます。学校が全ての児童生徒に一律の課題を課す家庭学習のみではなく、児童生徒が自分で目標や内容、進め方等を決めて、その達成に向けて取り組む家庭学習を進めることも大切であると考えています。

※ 家庭を含む学校外の学習を「家庭学習」と表しています。

【図 学習者主体の授業】



鹿児島県教育委員会「学びの羅針盤」(令和6年3月)

授業でよく分からなかった問題を、家でもう一度取り組もう。



授業で疑問に思ったことを、家でもう少し詳しく調べたいな。



授業中に書いたノートを見ながら、もう一度内容(何を学んだか)や学び方(どのように学んだか)を振り返ってみよう。



家庭学習は『60・90』から『マイゴールチャレンジ』へ

県教育委員会では、これまで家庭学習「60・90運動」として、家庭における学習時間の確保を呼びかけてきました。ある程度の学習時間はもちろん必要ですが、一律の時間を示すのではなく、児童生徒が自分にとって必要な家庭学習の内容や方法を決めて、自ら取り組むことなど、学習の質を優先的に考えることとし、家庭学習「マイゴールチャレンジ」への転換を進めています。

家庭学習「マイゴールチャレンジ」

児童生徒にとっては、家庭学習の目標や内容、進め方等を自分で決めて、目標達成をめざすこと、学校と家庭にとっては、児童生徒のチャレンジを促し、支援することを表しています。



自分のマイゴールを決めて、その達成に向けてチャレンジ!

学校としての取組を進めるに当たって

児童生徒が決める家庭学習のマイゴールは、まず、授業内容の理解の定着や補充をねらいとして設定することが考えられます。さらに、個に応じた、新たな問いをとことん探究する発展的な学習や体験を伴う学習など、自分の進路や生き方につながるような学びもめざしてほしいと考えています。

これは、高校では「総合的な探究の時間」があることや、社会に出てからも探究的に様々なことに取り組んでもらいたいということも背景にあります。各学校においては、「学習者主体の授業」との関連を踏まえて、児童生徒が主体的に取り組む家庭学習の在り方について共通理解を図り、できることから取り組んでいただきたいと考えています。

「学習者主体の授業」とつながる家庭学習

家庭学習「マイゴールチャレンジ」の推進に当たって、各学校の実態に応じた取組を工夫することが大切です。その際、次のポイントも参考にしてください。

1 全校体制 × 家庭との連携 × 小・中連携

児童生徒が家庭学習のマイゴールを決めてチャレンジしていくためには、発達の段階に応じて、自分で計画を立てて、調整しながら実行する力などを育てる必要があります。それらの力を系統的に育成していくためには、家庭学習の基本的な進め方について、全校体制で共通理解するとともに、家庭や近隣の小・中学校と連携を図ることが効果的です。

－ 学校の取組例 －

- 授業において、学んだことを日常生活に結び付けて考える場面の充実を図る。
- 予習型授業を導入し、授業内で行っていた自己追究（自力解決）を家庭での学習として位置付けて取り組むようにする。
- 家庭学習で何に取り組めばよいか分からない児童生徒への個別の支援を充実させる。
- 帰りの会や授業の中で今日の家庭学習の計画を立てる時間を設定する。
- 「マイゴールチャレンジカード」等を作成し、児童生徒が自ら計画を立てて取り組み、その振り返りが行えるようにする。
- 児童生徒の取組に、称賛や助言など具体的なコメントを添える。 など

発達段階や児童生徒の実態に応じた検討を

学年や個別の実態に応じて、学校から指示された課題のみに取り組むのではなく、児童生徒が家庭学習の目標や内容、進め方等を自ら決めて取り組む割合を段階的に増やしていくことが大切です。

小学校低学年においては、家庭における学習習慣を身に付ける時期です。そのため、学校と家庭が連携しながら、学校が指示する課題にチャレンジさせていくことが中心になると考えます。



児童生徒や保護者に向けた自校の「家庭学習の進め方」を作成、活用するなどして、様々な機会を捉えて、家庭学習の意義や取組を発信してください。

2 家庭学習におけるICTの活用

児童生徒が場所や時間等にとらわれない学びや、学校と家庭での連続した学びを実現するためには、タブレット端末を持ち帰るなどした上で、児童生徒自身が必要な時に必要な方法で、文房具のように日常的に利用できるようなする必要があります。

これにより、子供は、自らの学びを調整しながら学びを進めていくことが可能になります。

－ 「マイゴールチャレンジ」の例 －

- 学校から指示された課題をやりとげたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。
- 授業で分からなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
- 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自分ノート」にまとめる。
- 教科書やノートを見ながら、次の授業で学習する内容を予習する。
- 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。
 - ・国語の時間に学習した、教科書教材とテーマが同じ本を読み、感想をまとめる。
 - ・体育の時間に学習した運動を取り入れた体力づくりを行う。
- 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、とことん探究する。

〈参考〉

- 学びの羅針盤（令和7年度版）
（鹿児島県教育委員会ホームページ）

- 家庭学習でのICT端末活用の実践事例
（文部科学省StuDX Style ホームページ）



家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

『60・90』から『マイゴールチャレンジ』へ



鹿児島県教育委員会

鹿児島県教育委員会ではこれまで、学力向上に向けた取組として、小学校では60分間、中学校では90分間の家庭学習時間を目安とする**家庭学習「60・90運動」**を呼びかけてきました。家庭学習の時間を確保することはもちろん大切ですが、子供たちが「何を」「どのように」学習するかをより意識し、学習の質を大切にしてほしいことから、新たに**家庭学習「マイゴールチャレンジ」**を展開していきます。

家庭学習「マイゴールチャレンジ」

児童生徒にとっては、家庭学習^{*}の目標や内容、進め方等を自分で決めて、目標達成をめざすこと、学校と家庭にとっては、児童生徒のチャレンジを促し、支援することを表しています。

※ 家庭を含む学校外での学習を「家庭学習」と表現しています。

自分のマイゴールを決めて、その達成に向けてチャレンジ!



授業で疑問に思ったことを、家でもう少し詳しく調べたいな。

授業でよく分からなかった問題を、家でもう一度解いてみよう。



授業中に書いたノートを見ながら、もう一度内容(何を学んだか)や学び方(どのように学んだか)を振り返ってみよう。

なぜ「マイゴールチャレンジ」が必要ですか?

子供たちの個性や能力を伸ばすための重要な機会となるからです。



自分にとって必要な目標を決めて、それをどのように達成するかを見通し、調整しながら取り組む家庭学習には、次のような効果が期待できます。

① 自分の気持ちや行動を上手にコントロールする力の育成

・自分で計画を立て、教材を選び、学習時間を設定しながら計画的に学習を進めることで、自律的な学習能力が養われます。学習が習慣となり、無理なく継続できるようになります。

② 興味関心の深化・弱点の克服

・学校の授業だけでは触れられない分野や、個人的に興味のあるテーマについて深く掘り下げて学ぶことができます。
 ・苦手な分野や理解が不十分な内容を重点的に学習することで、学力のバランスを整えることができます。

③ 創造性や思考力の育成

・問題解決や探究的な学習を通じて、創造性や論理的思考力を養うことができます。

小学1年生から「マイゴールチャレンジ」に取り組んだほうがよいですか？

発達の段階に応じて、目標を決めながら「マイゴールチャレンジ」に取り組むことが大切です。



小学2年生頃までは、学校から指示された課題を中心に、目標時間等を決めながら取り組みます。

基礎・基本の定着を図るとともに、望ましい学習習慣を身に付けていきます。

小学3年生頃からは、学校から指示された課題だけでなく、内容や進め方等を自分で決めて、目標達成をめざす学習に取り組みます。

状況に応じて計画を見直しながら取り組むなかで、個性や能力を伸ばしていきます。

保護者として、どのように関わればよいですか？

発達の段階に応じて、

- ① (できるだけ)一緒に目標を確認する。
- ② そばで見守る。
- ③ 取組を見届ける。

そのときに、

★認めて・ほめて・自信をもたせる！

★励まして・自己決定を促す！ ことが大切です。



親子と一緒に



今日は、どんなことに取り組みたいかな。

そばで見守り



どんな計画で進めたら目標達成できそうかな。

取組を見届け



計画を立てて取り組んだことを、家族や先生に見てもらおう。

家庭学習の内容や進め方等については、学校でもアドバイスしていきます。親子で時々語り合いながら、子供自身ができそうなところから少しずつ取り組むことができればよいですね。

「マイゴールチャレンジ」はどのようなことをすればよいですか？

学校での学習とつながる取組が大切です。宿題の内容や量を見ながら、チャレンジしたい内容を計画的に取り組みましょう。



「マイゴールチャレンジ」の例

- 学校から指示された課題をやりとげたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。
- 授業で分からなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
- 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自分ノート」にまとめる。
- 教科書やノートを見ながら、次の授業で学習する内容を予習する。
- 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。
- 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、とことん探究する。

家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

広げよう 深めよう 楽しもう 自分の学び



鹿児島県教育委員会

みなさんは、下校後や休日に、学校以外の場所で、学校の宿題や読書、運動、習い事などさまざまな学習をしています。日頃、どのような気持ちで学習に取り組んでいますか。

「どうして学校の宿題をやらなければいけないの?」と思ったことがあるかもしれません。

なぜ、学習する必要があるのでしょうか。



あなたの考えはどうですか?



いろいろな考えがあると思います。友達などの考えもぜひ聞いてください。みなさんには、これから生きていく上で「**自分で学ぶ力**」がとても必要になります。

「自分で学ぶ力」を身に付けるためには、学校以外でも学習を工夫し、継続することが大切です。家庭学習の充実に向けて、みなさんに**家庭学習「マイゴールチャレンジ」**という言葉を紹介しします。

家庭学習「マイゴールチャレンジ」

家庭学習^{*}で「何を」「どのように」取り組むかについて、自分で目標や内容を決め、計画を立てて、目標の達成に向けて学びを調整しながらチャレンジすることです。

※ 家を含む学校以外での学習を「家庭学習」と表しています。



「マイゴールチャレンジ」の取組には、どんなよさがあるのかな。

目標を達成できると、やっぱりうれしいよね。次もがんばれそうだよ。



目標を達成できなかったときは、計画を見直して、また挑戦すればいいよね。

取り組む前に計画を立てて、終わったら振り返りをするのが大切だね。続けることで、きっと伸びを実感できるよ。



あなたの考えはどうですか?



宿題など、みんな必ずしなければならない学習も含めて、自分でチャレンジしたい内容や方法、時間や量を考えながら、学びを広げたり深めたりしよう! 自分なりのマイゴールを決めて楽しみながらチャレンジしていこう!



家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

学校の学習とつながる家庭学習「マイゴールチャレンジ」

－ 家庭学習で大切にしたいこと －

1 自分で目標を決めた学習にチャレンジ!!

- 学校から指示された課題も、学習を始める前に、目標を決めてから取り組もう。
・これまでの自分の取組を振り返りながら、内容や方法を選択する。
- 今日の授業で学習したことを復習しよう。
・ノート等にした「まとめ」や「振り返り」を読んで、学習内容等をもう一度整理したり、練習問題・発展問題に取り組んだりする。
- 次の授業で学習することを予習しよう。
・教科書やノート等を読んで、新たな自分の問いを作る。
- 時間があるときには、探究チャレンジをしよう。
・日常生活の中で、疑問に思っていることや興味がわいたことを調べたり、学んだことを日常生活に生かす取組をしたりする。

2 今日のチャレンジを振り返って、また明日にチャレンジ!!

- 学習が終わったらチャレンジの内容や方法を振り返ってみよう。
- チャレンジした取組を、家族や先生、友達に話してみよう。



「マイゴールチャレンジ」で、どんな目標を立てて取り組んだらいいのかな。

計算が苦手だから、計算問題に取り組もう。昨日より短い時間で終わらせたいな。



授業で、問題の解き方がよく分かったから、教科書にある少し難しい問題に挑戦してみよう。



明日の授業で学習するページを読んで、言葉の意味を辞書で調べよう。



授業のノートを読み返すと、自分がチャレンジしたいことが決まってくることもあるね。



「何を、どのように取り組んだか」を家族や先生と話すことも大切だね。



自分の家庭学習の進め方は?

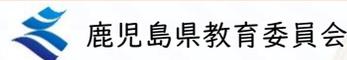


できるところから少しずつ始めていこう! 学校の先生や友達などのアドバイスも聞いてみよう!



家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

ひろ 深めよう ふか 深めよう たの 楽しもう じぶん 自分の学び まな



みなさんは、学校が終わったあとや休みの日に、宿題や読書、運動、習い事などさまざまな学習をしています。いつも、どのような気持ちで学習に取り組んでいますか。

「どうして学校の宿題をやらなければいけないの?」と思ったことがあるかもしれません。

なぜ、学習する必要があるのでしょうか。



あなたの考えはですか?



いろいろな考えがあると思います。友達などの考えをぜひ聞いてください。みなさんには、これから生きていく上で「**自分で学ぶ力**」がとても必要になります。

「自分で学ぶ力」を付けるためには、学校だけでなく、家などで学習を工夫し続けることが大切です。そこで、みなさんに**家庭学習「マイゴールチャレンジ」**という言葉を紹介しします。

家庭学習「マイゴールチャレンジ」

家庭学習*で「何を」「どのように」取り組むかについて、自分で目標や内容を決め、計画を立てて、目標の達成に向けて学びを調整しながらチャレンジすることです。

* 家を含む学校以外での学習を「家庭学習」と表しています。



「マイゴールチャレンジ」の取組には、どんなよさがあるのかな。

目標を達成できると、やっぱりうれしいよね。次もがんばれそうだよ。



目標を達成できなかったときは、計画を見直して、また挑戦すればいいよね。

取り組む前に計画を立てて、終わったら振り返りをするのが大切だね。続けることで、きっと伸びを実感できるよ。



あなたの考えはですか?



宿題など、必ずしなければならない学習も含めて、「何を・どうやってするか」「いつ・どのくらいするか」など、自分でチャレンジすることを考えながら、学びを広げたり深めたりしよう!

自分なりのマイゴールを決めて、楽しみながらチャレンジしていこう!



家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

学校の学習とつながる家庭学習「マイゴールチャレンジ」

— 家庭学習で大切にしたいこと —

1 自分で目標を決めた学習にチャレンジ!!

- 学校から指示された課題も、学習を始める前に、目標を決めよう。
 - ・これまでの学習の進め方を思い出しながら、自分で選ぶ。
- 今日の授業で学習したことを復習しよう。
 - ・ノートなどに書いた「まとめ」や「振り返り」を読む。
 - ・練習問題・発展問題に取り組む。
- 次の授業で学習することを予習しよう。
 - ・教科書やノートなどを読んで、新たな自分の問いを作る。
- 時間があるときには、探究チャレンジをしよう。
 - ・生活の中で、ふしぎに思っていることや興味がわいたことを調べる。
 - ・学んだことを生活の中でやってみる。

2 今日のチャレンジを振り返って、また明日にチャレンジ!!

- 学習が終わったら、今日のチャレンジを振り返ってみよう。
- チャレンジした取組を家族や先生、友達に話してみよう。



「マイゴールチャレンジ」で、どんな目標を立てたらいいのかな。

計算が苦手だから、計算問題に取り組もう。昨日より短い時間で終わらせたいな。



授業で、問題の解き方がよく分かったから、教科書にある少し難しい問題に挑戦してみよう。



明日の授業で学習するページを読んで、言葉の意味を辞書で調べよう。

授業のノートを読み返すと、自分がチャレンジしたいことが決まるってこともあるね。



「何を、どのように取り組んだか」を家族や先生と話すことも大切だね。



自分の家庭学習の進め方は?



できるところから少しずつ始めていこう! 学校の先生や友達などのアドバイスも聞いてみよう!

